

令和5年度 学校評価 幼稚園結果

令和6年3月末 学校教育課まとめ

No.	幼稚園名	今年度重点目標	学校自己評価結果						学校関係者評価			表示以外の評価「分野」	
			項目数	No.	分野	重点目標	評価項目・取組状況	達成状況	改善方策	評価項目	実施方法		総合
1	宮川幼稚園	(1)教育課程の推進 (2)幼児期から小学校期への円滑な接続の推進 (3)地域と連携した豊かな保育や子育て支援	2	2	地域連携	3	○地域の教育ボランティアの方に継続して指導いただくと共に、新たな地域人材を発掘し、地域の教育力を教育過程に反映させた。○浜町自治会や近隣の施設との交流を図った。浜町子ども会に協力し、こどもフェスタを宮川幼稚園にて開催いただいた。さらに浜町自治会と協力し、防災研修会や地域の見守りに参加した。	A	○新たな地域の教育ボランティアの開拓を図り、幅広い経験ができるよう努める。 ○地域のイベントに参加したり、園として協力できることを模索したりしながら、地域との連携を深める。	○新たな出会いから家庭では経験できない活動を行っている。子どもたちが地域の中で大切にされていることを実感する場にもなっている。 ○コロナ禍で中止していた交流を少しずつ再開している。地域のイベントを園で開催し、地域の子どもたちが集う場となったことは大変意義深い。今後も相互に協力したい。	○評議員会及び学校関係者評価委員会を対面で行った。 ○子どもたちの様子を参観いただく。 ○保護者アンケートを実施し、集約し保護者へ結果を周知している。 ○生活発表会・学校評価アンケートの結果や園だより等を提示し、評価を受ける。	自然環境を豊かに取り入れた保育やICTを活用した保育実践に成果が感じられる。小学校や地域と連携しながら、相互に理解を深め、交流を推進している。今後も継続されたい。	教育課程
2	岩園幼稚園	(1)発達段階を考慮し幼児が主体的に遊ぶ環境について考える (2)一人一人の幼児が自己発揮できるための指導の在り方について考える (3)地域に開かれた幼稚園づくりを進める	4	1	教育課程指導	1	○幼児の発達や遊び、興味・関心に応じた遊具、用具、素材等を準備する。 ○幼児が必要と感じた時にタイミングよく遊具、用具、素材等を準備する。 ○幼児が心をときめかせて遊びに向かう環境作りをする。	A	週に1度、幼児の姿を振り返り、幼児の興味関心にそった遊びができるように環境構成について話し合ってきた。幼児の興味に合わせた保育準備をしたことで遊びが深まった。また、大学から講師を招き、保育について助言をいただいた。	○幼児の興味に沿って環境を見直し、用意しているところが素晴らしい。 ○幼児の意欲を育てていることが伝わってくる。	○岩幼だよりやクラスだより、実践報告などからも幼児の様子を伝えることで、園生活がよくわかった。 ○保護者の意見を聞く機会としていいのではない。	重点目標に対しての取組は適切になされ、次年度に向けての改善方策も考えられている。	保護者・地域住民との連携 子育て支援
3	小槌幼稚園	(1)心豊かに感じ、共に育ち合う幼児を育むための教育の推進 (2)一人一人に寄り添った教育の推進 (3)幼稚園や地域の特性を生かした子育て支援の実施	2	2	子育て支援	3	○毎日のブログや園だより、写真の掲示等を通して、幼稚園教育の内容の発信に努めた。保護者会では、参観日での子ども様子から、「こころわくわくシート」用いて、成長や育ちつつある姿を保護者同士が共有できるようにした。 ○週1回の園庭解放では、未就園児が園で遊び、保護者同士や園とのつながりがもてるように努めた。また子育てサークルの活動日や子育てひろばと日を重ねて、園児と一緒に触れ合って遊ぶ場やサッカー教室や木育活動等、園に来て遊びを一緒に楽しめるような場づくりに努めた。	B	○幼稚園教育を分かりやすく発信する工夫をし、園と家庭とが連携がとれるように努めていく。 ○今後も地域の未就園児とその保護者が幼稚園を身近に感じ、親しみが持てるように、園の行事と重ね参加を呼び掛けるなど、発信をしていく。	地域に開かれた幼稚園として、他の就学前施設と連携したり未就園児も園の行事に参加できたりするような保育を行い、カリキュラムを工夫している。今後も特色ある園づくりを続けてほしい。	○教育評価に関する保護者アンケートを実施、集約し、保護者に周知した。 ○重点目標に対するの取り組みは適切になされている。	保護者の教育評価は具体的に丁寧に実施されており、園における教育活動の取り組みは良好である。今後も、家庭や地域との連携を大切に、園の特徴を活かしながら、教育活動や内容を考え、工夫していくことを期待する。	教育課程

No.	幼稚園名	今年度重点目標	学校自己評価結果						学校関係者評価			表示以外の 評価「分野」	
			項目 数	No.	分野	重点目標	評価項目・取組状況	達成状況	改善方策	評価項目	実施方法		総合
4	西山幼稚園	(1)響き合う仲間を育むための教育の推進 (2)幼児の育ちと学びをつなげる幼小接続の研究 (3)子育て支援活動の充実	2	1	教育課程	1・2	○響き合う仲間を育むための教育の推進 ・友達同士で思いを伸び伸びと出し合い、共感しながら遊び、互いに認め合えるような保育を進めてきた。行事でも友達と相談し協力する中で、個々が充実感や達成感を味わえる経験になるように進めてきた。 ・異年齢のペアで様々な活動をする中で、互いの思いやりや憧れ、個々の成長に繋がった。 ○地域との連携 ・小・中学校の様々な行事に参加したり、児童・生徒との交流をする中で、人と親しむ楽しさや憧れの気持ちをもった。城山登山やだんじり見学を通して、自分の住む地域を好きになるきっかけとなった。	B	○一人一人の内面理解を深め、友達と協力し、認め合い、響き合うことのできる経験を工夫していく。 ○異年齢のペアの活動が互いの成長に繋がるよう計画を進めていく。 ○幼小中での連携について、計画を進め、教員の連携や研究を深めていく。また、地域の教育力について見直し、さらなる連携を深めていく。	○アンケートや参観の様子から、園児が成長していることや、保育のねらいや内容が保護者に伝わっているのがよい。 ○地域との連携は公立幼稚園の強みであり、園児の経験に繋がるので、小学校や中学校と連携したり、地域の行事に積極的に参加したりしていることがよい。これからも引き続き、地域と連携していくとよい。 ○地域に顔見知りが増える事で、の安心感や小中生への憧れにも繋がっている。	園の教育目標、重点目標から評価項目を選び、保護者対象の教育評価アンケートと教職員対象の自己評価が適切に実施されている。また、回収率が100%であることがよい。	教育活動の取り組みや教育評価は良好である。今後も、家庭や小中、地域との連携に努め、安心して幼児が過ごせる幼稚園となるよう、教育内容や子育て支援の推進、情報発信の方法の画策を期待する。	子育て支援
5	潮見幼稚園	(1)健やかな心と体の育成 (2)環境を生かした園経営 (3)開かれた幼稚園づくり(子育て支援)	4	4	園経営	4	「さんさんひろば」「園庭開放」自主グループ「くれよん」「幼稚園で遊ぼう会」を毎週実施した。(週4回) リトミック、英語で遊ぼうなどとコラボし、参加者が増えた。子育て相談を受けることもある。	A	今後も未就園児親子の居場所作りをし、垣根の低い、開かれた幼稚園づくりを目指す。子育て相談を受けるなど、センター的役割を果たす。	これからも子育て支援に力を入れ、ますます開かれた幼稚園づくりをしていってほしい。	○学校評議員会を3回開催し、教育の取り組みを写真や動画で紹介し、意見をいただく。 ○日々の保育内容や取り組みをブログや園だよりで発信している。 ○保護者アンケートの結果を集約し、保護者と評議員に周知している。職員アンケートの結果は評議員に伝えている。	幼稚園のあるべき姿を示している。今大事にしている保育内容を、これからも続けてほしい。保護者の評価が高いだけでなく、職員の自己評価が高いことが素晴らしい。自信をもって仕事ができることが大事。外部にも発信してほしい。	園経営